



たんばいんぐ

丹波市 議会だより

No.44
2016.1

謹賀新年

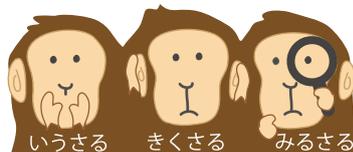
よく「観察」し、

しっかり「聞く」耳を持ち、

常に「提案」し続けていく。

さる年も 議会議員として一層精進してまいります

丹波市議会議員一同



いうさる

きくさる

みるさる

CONTENTS

議会報告会に新たな試みを導入	2
PICK UP! 12月定例会	4
★新病院統合	7
議案の審議結果	8
市議会からの提言	10
17人の議員が一般質問	12
「読みたい」と思える議会だよりって?!	19
みなさんからのひとこと「新年の抱負」	20



たくさんさんの「声」をありがとうございます

議会報告会に

新たな試みを導入

11月9日と10日の二日間、市内各地域で議会報告会を開催しました。

9月定例会の審議結果の概要について議員から報告を行い、その後、市政などについて参加者のみなさんとの意見交換会を実施しました。



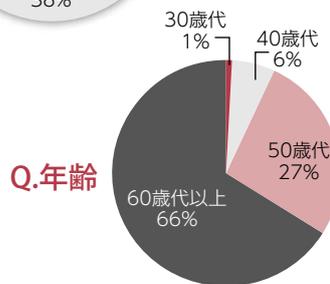
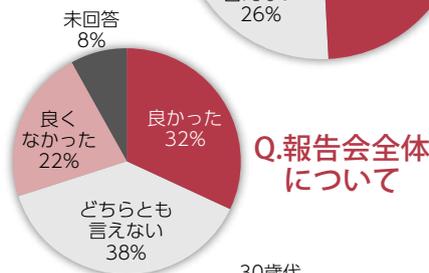
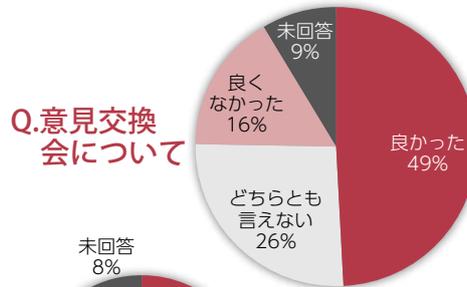
柏原自治会館で行われた報告会。お互いの意見を熱心に聞く参加者のみなさん。

ひとりでも多くの方のご意見が聞きたくて…ワークショップ形式の意見交換会を実施

今回の新しい取り組みとして、1人でも多くの方のご意見を聞きたいと、報告会の第2部に少人数のワークショップ(分散会方式)を取り入れて開催しました。

これは全国でも数少ない取り組みでしたが、終了後のアンケートの感想からは、今回ははじめての開催にも関わらず、少人数の場で対話ができる新たな形式を、多くの参加者の方々に満足いただけるという結果となりました。

今後もより多くの方からご意見をお伺いし、市政への提言として反映していけるよう努力いたします。次回の議会報告会の日程が決まり次第お知らせしますので、たくさんさんの市民の方にご参加いただきますようお願いいたします。



生郷交流会館で開催された氷上地域の報告会の様子。他地域からの参加者もあり、会場はいっぱい。



1

水道問題



・当事者として、まだ納得していない。きちんと住民の理解を得てから事業を進めるべきだ。
 ・天王坂経由での上水道に関して詳しい説明をお願いしたい。

2

病院跡地



新病院の建設によって生じる病院跡地について、地域にとって価値ある有効活用策を考えて欲しい。

3

空き家



増加する空き家の問題を解消するために、移住してくる人が増加していくような全国でも特徴的な取組みをして欲しい。

たくさんのご意見をいただきました



TAKUSAN - NO KOE - WO ARIGATO U

4

災害復旧



まだまだ復旧はこれから。二次的被害が起らないように、改修工事も迅速に進めていただき、絆が薄まらないよう自治会の活動にも支援をいただきたい。

5

公共交通



病院や買物に行くための公共交通の整備について、デマンドタクシーの接続の不便さの解消などをぜひとも検討して欲しい。

6

マイナンバー



マイナンバー制度の導入は非常に心配だ。個人情報情報を慎重に取り扱い、市民に不利益の無いように細心の注意を払って取り組んで欲しい。



たくさんของกลุ่มに分かれてのグループワーク (ハートフルかすが)

グループワークで出た意見を全体会で発表 (青垣住民センター)

会場での参加者アンケートから

「グループ討議で意見が出しやすかった。」「本音で話し合えた。」「議員が市民の声を聴く機会をもたれることがよい。」「ほかの方の意見も聞いて良かった。」「議会報告の説明が分かりにくく、短時間で不十分だった。」

グループワークによる意見交換会と全体会での発表



グループワーク (山南住民センター)

グループワーク (市島農村環境改善センター)

別室まで参加者でいっぱい (生郷交流会館)

緊急修繕等にかかる運営負担金計上を見送り

1. これまでの経緯

現在、山南地域のゴミは篠山市清掃センターで処理されています。同施設は平成14年に建設され、当時の篠山市と旧山南町が篠山清掃センター運営協議会を設置し、建設費や施設運営費の負担割合などを定めた確認書を交わし、旧山南町のゴミ処理を同施設で行うこととなりました。さらに、丹波市合併後の平成17年には、篠山市と丹波市がほぼ同じ内容の確

認書を交わし、現在に至っていません。

2. 確認書にある負担割合の見直しを

ごみ1トンあたりの運営経費の負担割合が篠山市に比べて2倍近いことから、これまで負担割合の見直しを再三求めてきましたが、篠山市側は確認済み事項であるとの主張を変更していません。



第 85回丹波市議会定例会を、12月1日から12月22日まで22日間の

平 成27年度一般会計及び各特別会計補正予算は、議長を除く議員全員による補正予算特別委員会(前川豊市委員長)で審査し、その他の議案については付託先の各常任委員会で慎重に審査され、それぞれ可決しました。定例会での主な質疑のうち主な3議案についてご紹介します。

総務

[議案第116号] やまなみホールの廃止
[議案第117号] やまなみホールの用途変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

やまなみホールを文化ホールから 多目的利用できる大型貸室に用途変更

平成25年に策定した丹波市生涯学習施設整備方針(適正配置計画)に基づき、平成27年度にやまなみホールの舞台等既存設備を簡易に操作・利用できるように改修し、多人数での研修会などで使用できる多目的の大型貸室に用途変更することに伴い、「文化ホール」としての位置づけを廃止し、関係条例の改正を行うものです。



やまなみホールでの文化協会発表会

問 どのように変更しようとするのか。

答 講演会、発表会、簡単な文化行事に使用できるようにします。従来は市の職員が照明、音響などの操作をしていましたが、今後は、利用者で操作してもらうこととなります。簡易な操作盤を設置し、照明はLED化をはかり、新たにプロジェクターを設置します。使用料金も安くなります。

問 移動式の観客席の椅子は残るのか。住民や利用者への説明が不足していないか。

答 観客席の椅子は使えなくなるまで残します。住民・利用者への説明が不十分だったと反省しています。今後とも、用途変更について説明していきます。



補正特委

〔議案第133号〕一般会計補正予算（第4号）
〔承認第5号〕議案第133号一般会計補正予算（第4号）の原案訂正

運営負担金等を除く原案訂正により可決

一般会計補正予算案に、篠山市清掃センターの運営負担金1,017万円が計上されていたことから、「建設費や施設運営費の負担割合などを見直すための話し合いを今こそ進めるべきだ」との意見があがり、18日の補正予算特別委員会では、追加補正を見送りこれを削除する修正案が全会一致で可決されました。

これを受けて、本会議最終日の12月22日、辻市長から「特別委員会での審査結果の重大性を鑑み、篠山市との前向きな協議・交渉に挑みたい」と、当局自ら1,017万円を削除した補正予算の訂正案が提案され、委員会での審査を経て本会議で全会一致で可決されました。

篠山市清掃センター

問 山南地域のごみを処理するのにトン当たりいくらの運営経費がかかっているのか。

答 平成26年度は2,400トン进行处理しており、トン当たり約4.5万円です。



12月定例会

条例の改正や補正予算などを含む27議案について慎重に審議

12月定例会 12月1日～22日（会期22日間）

委員会付託議案：総務10件、民生3件、産業建設7件、補正予算特別4件

民生

〔議案第122号〕丹波市丹の里^{まごころ}手話言語条例の制定
手話でだれもが安心して暮らせる社会を
～丹波市議会初の議場での手話通訳～

手話は言語であることを理解し、手話を必要とする市民が、あらゆる場面で手話による意思疎通を行い、自立した日常生活を営み、安心して暮らすことのできる地域社会を実現するために制定されるものです。

問 手話施策推進協議会の委員構成は。

答 手話による意思疎通を行う者等により15名以内で組織を構成します。

問 逐条解説[※]等を作成し市民に周知すべきでは。

答 条例の目的は手話を言語として使うことの意義を浸透させるものであり、市民に啓発できるように検討します。



市議会初となる議場での手話通訳（上）と傍聴席のろうあ協会関係者など（下）。

〔用語解説〕逐条解説：「逐」には順番にあとを追って進むという意味があり、「条」は条文を指します。「逐条解説」とは、条文を一つ一つ順番に解説していくという意味です。

委員会付託：議案は、本会議で全体的な観点から質疑が行われたあと、一部例外を除き所管の委員会に委ねられ（付託され）詳しく審査されます。本会議最終日には、委員長からの審査報告に続き、採決が行われます。

総務常任委員会

〔議案第118号〕 俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例制定
細見綾子氏生家の保存と丹波市の文化振興のための寄附金を適正に管理するための条例を可決



細見綾子邸を視察する
 総務常任委員会の委員

丹波市ゆかりの俳人細見綾子氏の遺族から、生家並びに1億円の寄附採納を受けたことから、氏の功績を称え顕彰するとともに、生家の保存及び利活用、また、丹波市の文化振興事業の推進を図ることを目的として、丹波市俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例を制定するものです。

問 生家の修繕、駐車場の設置、便所の設置などでどのくらい費用がかかるのか。寄附金1億円以内で考えているのか、一般財源の持ち出しもあるのか。

答 活用方法は現在検討中です。観光活用するのか空き家管理とするのか、活用の仕方によって費用が変わりますので、一般財源からの支出もあります。

問 今回の生家と寄附金は負担付寄附になるのではないのか。

答 負担付寄附にならないように寄附者と契約しています。寄附金は生家の維持管理費用などに使います。

民生常任委員会

〔議案第121号〕 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

消防団員の公務災害にかかる補償率を維持するための条例が改正されました

共済年金と厚生年金が統合されたことにより、これまで、消防団員が火災の鎮圧、天災等の発生における人命の救助等による公務上の災害を受けた場合に支給されていた傷病年金等の支給率が下がることを防ぐため、調整率によって補填する条例が改正されました。

補正予算特別委員会

〔議案第133号〕 一般会計補正予算（第4号）

債務負担行為*

青垣地域小学校統合準備事業としてスクールバス3台購入に係る費用5,040万円を計上



問 通学経路と時間帯の渋滞予測など人の命の問題として、教育委員会単独でなく関係部署と協議する予定はあるのか。

答 建設部や関係部署と検討します。

歳出

生活自立支援の相談窓口の見直しにより生活困窮者自立支援事業委託料1,515万円を減額

問 相談や問い合わせが少なくなり窓口を減らすために減額されるのは、解決の効果があつたからなのか。仕組みづくりの場について検討できないか。

答 公設の相談窓口「めばえ」をワンストップ窓口として充実させるとともに、地域や事業者が参画できる仕組みを検討します。

U・Iターン推進事業1,602万円を計上

定住希望者が起業する際に利用できる施設整備のためイノベーションハウス整備事業*補助金1,430万と定住促進活動委託料172万円を計上。

問 定住促進活動委託料の内容は。

答 相談業務に32万3,000円、パンフレット作成委託に140万円を計上しています。

マイナンバーカード作成時の顔認証システム導入に639万円を計上

問 顔認証の機器はなぜ必要か。

答 マイナンバーカードを交付する際は、本人であることの確認が重要ですので、カードの写真と来庁された方が同一人物であるかどうかを確認するため、本庁・各支所に設置するものです。

〔用語解説〕債務負担行為：行政が契約をする場合、「会計年度独立の原則」によって単年度契約となります。しかし、大規模な工事など複数年にわたる契約が必要な場合は、債務負担行為の手続きをすることで次年度以降の支払分を含めた1つの契約を締結することができます。

イノベーションハウス整備事業：定住希望者が起業する際に利用できるシェアオフィスや、商品を販売するチャレンジショップなどとして利用できるよう、空き家などを改修する事業。

産業建設常任委員会

〔議案第125～130号〕丹波市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館、道の駅あおがき直販加工施設、道の駅丹波おばあちゃんの里、丹波悠遊の森、ウディップラザ山の駅、今出川親水公園に係る指定管理者の指定

農産物販売所等の民間譲渡など指定管理に対する市の考え方を問いました

さくら公園内にある「丹波市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館」のほか、市内5つの施設が、平成28年4月から33年3月まで指定管理*者の管理の期間を5年間更新する議案が提出され、委員会で可決しました。



四季彩館（氷上町本郷にあるさくら公園内）

問 ひかみ四季菜館は、指定管理料を支払わなくても収支がとれているのではないのか。市は民間に経営を委ねている指定管理施設について、今後、譲渡など指定管理の方向をどのように考えられているのか。

答 ひかみ四季菜館は収支がとれている施設ですが、運営している「丹波とれとれ市」がさくら公園も管理しているため、その管理委託料として年間84万円を支払っています。丹波市の農産物販売や情報発信、交流の役割を担っていただいておりますので、市では指定管理料の支払いの有無に関わらず、今後も指定管理施設として引き続き継続していく方針です。

問 今出川親水公園で、新たに指定管理料30万円が必要になったのはなぜか。

答 経営面が苦しく親水公園の管理ができなくなり、公園内の川の整備等をし、安全に来場者に遊んでもらう為に必要になりました。

〔用語解説〕指定管理：地方自治体が所管する公の施設について、管理・運営を民間事業会社を含む法人やその他の団体に委託することです。民間等のノウハウを導入することにより、効率化を図ることができます。指定管理者の指定は、自治体の長が条例で定めることで使用許可が与えられるため、議決事項となっています。

病院統合

- 1 -



特別委員会で調査研究中

平成24年11月、県の「丹波地域の今後の医療提供体制のあり方に関する検討会」から、「県立柏原病院と柏原赤十字病院を統合再編することが望ましい」とする提言書が提出されたのを受け、平成30年度に両病院の統合再編が行われることとなりました。

これにより丹波市では、市が設置する地域医療総合支援センター（仮称）、丹波市立看護専門学校などの整備について庁舎内に検討組織を設置し、同センターとその周辺の整備や両病院の跡地利用を含めた検討をされています。

丹波市議会においても、10月の臨時会で「丹波市地

域医療総合支援センター（仮称）等調査特別委員会（西本嘉宏委員長 議長を除く全議員19名で構成）を任期は調査終了までを設置し、これまでに3回の委員会を開催。12月には県の病院局からも出席いただき意見聴取などを行いました。

今後も、整備施設、事業用地、周辺整備、交通アクセス、両病院の跡地活用などについて調査研究を行い、市および関係機関に提言を行う予定です。





CLOSE UP!

10月臨時会・12月定例会 議案の審議結果

会期：臨時会10月16日 定例会12月1日～22日

■全員賛成で可決した議案

補正予算 (12月) 【詳細は4～5ページ参照】

議案第133号～136号、138号
 平成27年度一般会計 (第4号・5号)
 介護保険特別会計保険事業勘定 (第2号)
 介護保険特別会計サービス事業勘定 (第2号)
 農業共済特別会計 (第2号)
承認第5号
 議案第133号平成27年度一般会計補正予算 (第4号) の原案訂正

地域医療 (10月) 【詳細は7ページ参照】

発議第2号
 地域医療総合支援センター(仮称)等調査特別委員会の設置

人事案件 (12月)

同意第3号
 任期満了に伴う教育委員会委員の任命

■その他の案件

月	項目	議案番号	件名
10月	決議	4	丹(まごころ)の里創生総合戦略に係る提言
12月	決議	115	情報公開条例の改正
		118	俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例の制定
		119	税条例等の改正
		120	市有財産の無償譲渡(東中自治会)
		121	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
		122	丹(まごころ)の里手話言語条例の制定*
		123	市立障害者地域活動支援センターに係る指定管理者の指定
		124	字の区域変更
		125	市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館に係る指定管理者の指定
		126	市立道の駅あおがき直販加工施設に係る指定管理者の指定
		127	市立道の駅丹波おばあちゃんの里に係る指定管理者の指定
		128	市立丹波悠遊の森に係る指定管理者の指定
		129	市立ウッディプラザ山の駅に係る指定管理者の指定
		130	市立今出川親水公園に係る指定管理者の指定
		131	黒井城跡整備委員会の設置に関する条例の制定
		132	特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
		137	特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の制定
	発議	3	丹波市議会会議規則の改正

【用語解説】
特別多数議決：基本的には出席議員の過半数の賛成により議決するが、市役所の位置を定める条例や議員の資格の決定、除名、長の不信任議決など、さらに多くの賛成が必要な場合の議決をいう。
発議：議員提案による議題
議案：市当局提案による議題
承認：一定の行為を行う場合の同意
同意：市長が行う人事案件などへの同意
決議：事実上の意思形成

討論をチェック!
 ※賛成・反対の討論があった議案には*を付記しています。討論の様子は、丹波市議会インターネット中継(録画中継)でご覧いただけます。

■賛否が分かれた議案

※議長は特別多数議決*を除き表決に加わりません。

議案番号	件名	結果	賛成	反対	垣内 廣明	坂谷 高義	木戸 せつみ	岸田 昇	平井 孝彦	前川 豊市	西脇 秀隆	西本 嘉宏	田坂 幸恵	藤原 悟	足立 克己	太田 一誠	太田 喜一郎	山本 忠利	土田 信憲	横田 親	荻野 拓司	林 時彦	白井 八洲郎	奥村 正行
12月 議案第116号	市立山南農村環境改善センター(やまなみホール)の廃止	原案可決	19	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	市立山南農村環境改善センター(やまなみホール)用途変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第7号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願	不採択	3	16	×	×	×	×	×	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

民生常任委員会行政視察報告

10月14日～15日 愛知県安城市・神奈川県藤沢市

ニートやひきこもり状態にある若年者の支援について先進事例を学ぶ

丹波市が抱える様々な課題を調査・研究するため、先進地を訪問し、視察研修を行いました。



生活困窮者自立支援の取り組み（安城市）

安城市では、平成26年度に実施された生活困窮者自立促進支援モデル事業について学びました。

安城市では、相談支援、就労準備支援を直営で実施されるとともに、貧困の連鎖を防ぐため、子ども学習支援事業をNPO団体とシルバー人材センターに委託し事業を推進されています。

本市においても、事業を推進していくにあたり、行政部局、外部団体との連携を強化する必要があると感じました。



生活困窮者自立支援について学ぶ

ニートやひきこもり状態にある若年者の支援（藤沢市）



「ユースワークふじさわ」の施設内を見学しながらさまざまな自立支援の形を学ぶ（写真はガーデニングゾーン）

藤沢市では、「ユースワークふじさわ」を拠点として、ニートやひきこもり状態にある若年者の自立に向け、個別のプログラムを作成し、就労準備や就労支援、家族支援など一人一人に応じたきめ細やかな支援が行われています。

本市においても、拠点施設を整備し、相談に訪れやすい居場所づくりに努めるなど、相談者に寄り添える事業展開を図るべきであると感じました。

ようこそ 丹波市議会へ 全国各地からの視察を受入れています



丹波市議会には、全国各地からたくさんの方々が視察に訪れています。

一昨年の豪雨災害により受入れを中止していましたが、受入れを再開して以降、5月13日の長野県飯山市議会、徳島県吉野川市議会を皮切りに11月19日の北海道むかわ町議会まで、26団体239人が来丹されました。

これからも、他市の見本となり、市民のみなさんの負託に十分応えられるような議会をめざします。

* 視察BEST 3 *

1. 議会改革
(タブレット端末の導入含む)
2. 地域医療再生
3. 定住促進・企業誘致・
中心市街地活性化

1

提言

人口ビジョン 総合戦略全体に かかわるもの

【提言内容】

2060年までの目標人口を53000人に設定し、「帰ってこいよー」のスローガンのもと、人口の社会減、自然減を最小限に食い止めるための施策を積極的に取り組む。

【提言趣旨】

丹波市の総人口の推計は、人口シミュレーションで示されているとおり、現状で推移した場合には、2060年に35245人とされており、今後45年間で29243人、年間650人の減少が見込まれている。このため、現在実施されている施策に加え、本提言書で提言する施策を展開することにより、今後の人口減少幅を推計の約半分に抑制することを目標と

して、2060年の目標人口を53000人とする「シミュレーション2」の推計人口を目標とする。

2

提言

人口の 社会増の取組みに 関するもの

【提言内容】

本年度終了する「元氣な地域づくり特別事業交付金」の後継事業として、丹波市人口ビジョンに定めた目標人口の達成に向けて、推進本部、指導員、推進委員、住民が一体となって取り組む各自治協議会、各自治会の特色ある事業に対して、重点的に交付金が交付される新たな制度を整備する。

【提言趣旨】

市長を本部長とする推進本部、外部有識者で構成する懇話会が中心になって協議が進められて

議員20名が「討論」を重ね

「人口減少対策に関する提言書」を

市長へ提出しました

市議会からの

提言

丹波市議会では、現在市が策定を進めている丹波市における総合戦略「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略」について、政策討論会(岸田昇座長)を開催して議員間で討論を重ね、この戦略における人口減少対策への提言を次の3つの論点ごとに提言書としてまとめました。

- ① 人口ビジョン、総合戦略全体にかかわる提言
- ② 人口の社会増の取組みに関する提言
- ③ 人口の自然増の取組みに関する提言

この提言が丹波市の地域創生の糧になるよう、市当局にはこれを尊重の上、今後の総合戦略の策定に活かされることを願っています。

丹波市議会
議長 奥村 隆
平成27年10月3日

丹波市議会
議長 奥村 隆

丹波市長 止 重五郎 様

「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略への提言書」の件について

丹波市議会では、現在市が策定を進めている丹波市における総合戦略「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略」について、政策討論会を開催し議員間で討論を重ね、この戦略における人口減少対策への提言をまとめた提言書としてまとめました。本提言が丹波市の地域創生の糧になるよう、市当局におかれてはこれを尊重の上、今後の総合戦略を策定に活かされますようお願い申し上げます。本討論会に提出された各会派からの提言も参考までに添付いたします。

【提言内容】
丹波市で安心して出産・子育てができる支援策を充実させる。

【新規・拡充】
①妊娠期からの切れ目のない子育て支援(丹波版ネウボウ)の整備

3 提言 人口の自然増の取組みに関するもの

はいるが、この様な体制の中で策定された総合戦略、人口ビジョンを確実に進めるには、丹波市自治基本条例に準じて市行政と自治会との協働、参画がなくてはならない。

■実施団体 小学校区25自治協議会、各自治会

■事業経費 80万円×25×10年=2億円

計画策定経費(現行予算額)20万円×25=500万円

④不育症の治療費助成
治療を受けている方への助成
1人につき10万円/年(1

【拡充】
②出産祝金事業の拡充
第2子に20万円、第3子以降1人につき50万円、(現行)第3子以降1人につき20万円

③保育料の軽減拡充(第2子は5割軽減、第3子は無料)(現行)1号認定…同一世帯小学校3年生までの兄、姉がいる場合、2人目は5割軽減、3人目以降は無料 2、3号認定…同一世帯の兄、姉が認定子ども園等に入所等している場合、2人目は5割軽減、3人目以降は無料

ア 支援体制の構築及び組織・団体等や事業の体系化
イ 旧6町の子育て学習センター等に保健師を配置
ウ 産前・産後ケア用施設(既設利用による助産所等)の整備

【拡充】
②出産祝金事業の拡充
第2子に20万円、第3子以降1人につき50万円、(現行)第3子以降1人につき20万円

④10万円×申請者10人/年
③軽減負担額が仮に30%増加すると見込むと、約500万円/年の市負担増となる。

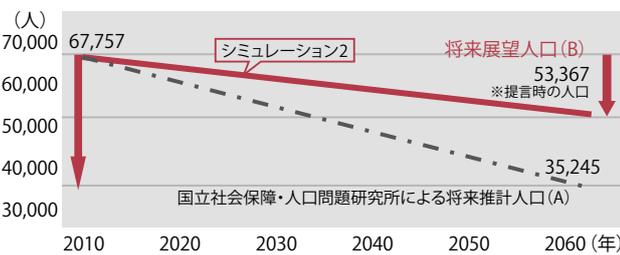
①目標年度を定めて計画と予算化を行う
②(20万円×100人/年)+(50万円×50人/年)=4500万円/年

【提言趣旨】
現在も出産・子育て支援が実施されているが、丹波市における子育て環境や支援への満足度は、普通・やや低い・低いが未就学児・就学児共に70%以上ある。

また、転入・転出者共に、今後、丹波市が特に力を入れるべき取組みとして、子ども・子育てを上位に挙げている。

丹波市で安心して出産・子育てができるよう現在の支援の拡充と産前・産後・子育てを切れ目なく支援する制度づくりを行う。

丹波市の自然増減、社会増減の影響度を反映した人口シミュレーション(予測)



※提言後、市は2060年の将来展望人口を50,417人に修正されました。

【解説】現状のまま人口が減少した場合、2060年にはほぼ半数の35,245人になると推測されています(A)。しかし、丹波市は合計特殊出生率が国よりも0.25高いことから、国の上昇分に合わせて増加し、2020年までに社会増減が均衡となると予測した場合、2060年の将来展望人口(B)は53,367人となります。これをめざすには、積極的な施策を打ち出すことが重要です。



人口減少に伴い地域の活力が失われていく今、いかに地域の活力を創生するかが大切。近所の世帯でも、地元に残る世帯が少なくなり、大変な状況だと思う。地域の特性を活かした策を考えるべき時がきている。



子どもがいるから地域に活力が溢れ、未来へ繋がる地域創生が可能になるはず。私は、働くならわが子と共に行ける仕事につきたいです。子どもと大人の世界に境界をつくらず、学び支え合える環境があればいいと思います。



提言までの道のり

- *第1回 8月12日(水) 「地方創生に伴う人口減少対策」の提案説明
- *第2回 8月18日(火) 議題に対する各会派からの提言発表
- *第3回 8月26日(水) 各会派からの提言に対するの質疑、討論
- *第4回 9月17日(木) 幹事会で抽出、精査された提言に対するの質疑、討論
- *第5回 10月7日(水) 議会提言とする討論
- *第6回 10月16日(金) 提言書のまとめ
- *市長へ提言書を提出

市政をただす！

12月定例会一般質問

17人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決める、市の見解を求めます。3月は会派による代表質問も行われます。

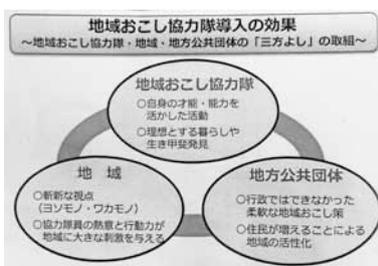
質問は受付順

一般質問を行いたい場合は、質問内容を記した発言通告書を議長に提出します。この受付番号が発言順となります。

制限時間は60分

議員一人あたりの制限時間は60分です。一問一答方式で行い、答弁を市長や各部長に求めます。

地域おこし協力隊導入の効果



答 両地区は過去10年間に18歳から

問 2060年に人口が半減する校區は8校區で前山校區と和田校區は特に激しく3分の1以下となる推計が出た。これをくい止めるには起業、企業誘致の積極策、地域おこし協力隊の導入、雇用促進住宅を定住促進住宅として購入、Uターン教育などをすべきだ。



人口減少をくい止めるには

木戸せつみ議員

見守ります。

答 不登校の要因は家庭だけでなく、学校での問題など様々であり、適応指導教室やいじめゼロ支援チームなどで対応します。フリースクールは国の動向を見守ります。

問 49歳までの社会減が多かった地区です。市内で起業は18件ありました。企業誘致も積極策を継続します。地域の人が望めば地域おこし協力隊を導入します。ふるさと教育を推進し、地域への愛着と誇りを持つ子を育てます。



空き家対策、利活用の強力な推進を

西脇秀隆議員

移住定住で人口減を抑制



答 現在空き家調査(4157戸)を行っており、12月中旬に最終とりまとめの見込みです。空き家バンク(住まいのバンク)はこの11

問 市の空き家対策、利活用のスピードを上げてほしい。空き家調査の進捗状況と設立された「空き家バンク」の内容はどうか。

せん。

答 青垣新水源は必要な水源です。春日町への送水地域の過去5年間の平均配水量は約3100tです。春日の小規模な浄水場は耐塩素性病原原虫等への対策が不十分で早く改善したいと考えており、継続使用は望ましいことではありません。

問 青垣新水源問題の解決には、①新水源を飲料水には使わない決断と②春日へ送水する水量を減らすことだと考えるがどうか。春日の小規模な水源を残してはどうか。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



認定子ども園の
保育士処遇改善は

平井孝彦議員

問 認定こども園の保育士給料は、命を預かる業務にしては低く抑えられている。保育士不足による影響は園児や保護者に様々な影響がある。早急に賃金などの処遇改善を図るべきである。

答 平成27年度は国が示す施設型給付費として、職員状況にあわせまずはその制度で実施されるものと考えています。図書館の利用に多くの市民から開館時間の延長、休館日の変更などの要望がある。さらには飲食可能なカフェスペースの設置で利用者増が計られると考える。他市では民間委託で利用者サービ



認定子ども園「ふたば」

答 市民ニーズの対応は行政の責務と考えています。職員体制の整備とカフェスペースの設置は研究します。



自治基本条例を守り、
住民自治の市政を

前川豊市議員

問 丹波市自治基本条例にある住民自治組織は、小学校校区単位の自治協議会であって、自治会長協議会は別の組織と考えてよいのか。

答 自治基本条例に定めている自治組織は、小学校校区単位の自治協議会です。自治会の代表で構成されている自治会長会は、別の組織であるといえます。

問 第3条にある「基本理念」は守られているか。

答 基本理念の中に「地域の歴史や文化、自然環境等の特性を伸ばしながら、次世代に引き継ぐ」等があり、この理念を市民、議会、行政等のすべてが共有し、

守り続けることが大切と考えます。

問 市が条例に違反する市政をやっていたら、執行方針を変更しないのか。

答 条例には、市政運営の原則を規定し民主的かつ公正・公平に行うことを定めています。今後も市民参画により、長期的な視点に立つて活力あるまちづくりを推進していきます。



住民自治が守られていけばこうした看板は立たないのでは...



山南地域のゴミは
丹波市で処理を!

林 時彦議員

問 合併以後、山南地域のゴミは篠山清掃センターで処理いただいているが、分担金の軽減やその期間について、両市の主張は対立したままである。県の広域化計画の期日が過ぎってしまった現在においては、今までの議論は置いておいて、不公平な契約の是正に向けた正面から議論するべきだ。

答 両方の市にとってメリットのある方法を考えます。市民の「不平等ではないか?」の思いをしっかりと受け止め、取り組みたいと思います。

問 市長同士の主張は違いが大きいでしょうが、腹を

割って話すことしか解決はできない。一定の負担、金額は払う必要があるのは当然だが、このままでは税金の垂れ流しである。市長の決断を求める。

答 市長としての取り組みについて力強い提言を戴きました。今後、早く解決できるよう鋭意努力します。



クリーンパーク丹波



水道問題について

足立克己議員

問 市当局から青垣、幸世地区に運用案が示されたが、その後の地区の回答と市のこれからの進め方はどの様にするのか。

答 運用案に関する質問書に対して回答し、今青垣地域自治振興連合会で協議が進められていきます。地域住民の周知に関しては青垣地域自治振興連合会、幸世自治振興会と協議していきます。

問 東芦田水源からの取水が必要となった場合どの様にポンプを動かすのか。
答 取水が必要となった場合だけ稼働させることは維持管理上困難であり、常時稼働を必要とし

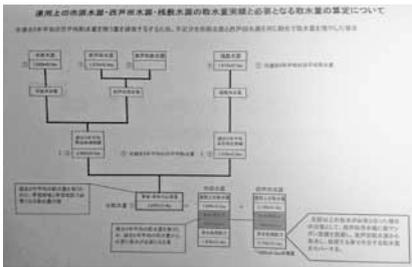


新病院に直行する デマンド交通の運行を

荻野拓司議員

問 平成30年度を目途にした県立柏原病院と柏原日赤病院の統合による新病院および地域医療総合支援センターの開設に向けた周辺整備・交通アクセスの検討の中で、デマンド交通の新病院、地域医療総合支援センターにつなぐ対策を検討すべきだ。議会報告会を始め、様々な場で市民からの要望が多く出ており、現行のデマンド交通の体制では、柏原、氷上地域からは新病院に直接運行、あるいはすぐ近くまで運行されるが、他地域は、旧町域内というのは公平性に欠く。

答 新病院のアクセスにつきまして



新水源の運用案

は、公共交通会議におきましても、公共交通の運行体系の見直しなどの対応が必要であると認識しています。デマンド交通について、さらに利便性の高い交通体系の構築を考えていきます。



デマンド型乗合タクシー



「地方創生」に逆行 TPPに反対を

西本嘉宏議員

問 市長は、TPP「大筋合意」について「どちらかというところ」を表明し一定評価する。改めてその理由は。

答 主要作物の水稲への影響、多くの稲作農家の経営に打撃となる可能性があるからです。

問 その中で「農村集落自体が崩壊する可能性がある」とも言っているが。

答 米価が下落した農家が增加することが考えられます。

問 「年少扶養控除」のみなし算定が27年度より廃止され、これにより保育料が上がった人数と市の「みなし」継続措置について。

答 約90名(継続入所者の6・5%)の保育料が上がったと推定。保育料は、標準時間、短時間の入園者数が半々で、全体の平均で、国基準の約45%の軽減となつていきます。

問 多子世帯保育料軽減の1号認定と2・3号認定の格差の是正は。

答 軽減を含めて、今後検討します。



豊かな農山村が TPP で危機に

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



4年後の活躍人口の
考え方は

太田一誠議員

問 総合戦略素案空
き家活用促進の
空き家バンクの現状
と今後は。

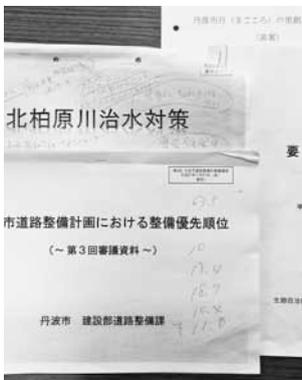
答 空き家バンクは
11月30日に設置
しましたが、成約に
至ったものはありま
せんので、実績があ
がるよう努力してま
いります。空き家利
活用対策としては、
「住居支援」「起業支
援」「地域活性化支
援」を3つの柱とし
ます。

問 地域で空き家仲
人として実
践されようとし
ているが、市は
ご存じか。

答 取り組みを
参考に研究
します。

問 大学・地域
住民の持続

交流人口や自然環境対策の思案



的連携は。

答 「地域活性化支
援」施策のモデ
ルとします。

問 加古川市支流対
策について。

答 北柏原川（仮称）
管理検討委員会
を設置し、高谷川等
の整備状況を考慮し
上流で溜める考えと
下流に負荷を与えな
い調整池や有効な対
策を議論しています。



中小企業振興基本条例
（仮称）の制定は

太田喜一郎議員



中小企業の振興に関する条例の
逐条解説（兵庫県）

問 市の商工業の発
展はもろろん
こと、恵まれた自然
を大切にしてい
る。農林業も含
めた条例の制定が
必要と考えるがど
うか。

答 中小企業の振興
は地域の経済や
雇用を支え、地域社
会の担い手として重
要な役割を果たして
います。条例制定に
ついては、中小企業
を取り巻く現状と課
題を整理し、丹波市
の農林業のブランド
力の活用方法やさら

には地方創生の
めざす人口対策
や地域の元気づ
くり等、地方創
生の実現に向け
て研究します。

問 丹（まごこ
ろ）の里創
生総合戦略にお
いて結婚相談支
援事業「婚活お
せつかいマスタ
ー登録制度」が
新規に提案され
ている。どのよう
に展開するのか。

答 結婚を希望する
独身男女の出会い
から成婚までをポ
ランテアで伴走支
援する、仲人的な役
割をする「おせつ
かいおばさん・お
じさん」を募集し
身近なところで良
縁の提供を行います。



健康寿命日本一への
取り組みの考えを問う

藤原 悟議員



脳活俳句で健康づくり・俳句文化を
広めよう！

問 ウォーキングに
「脳活俳句」を
取り入れた取組み
を。ご提案のよう
な活動も含めて健
康づくりを推進し
ます。

答 介護ポランテ
アポイント制度
の検討状況は。

答 平成28年度から
有償ポランテ
アによる生活支援制
度の構築を進めて
いきます。

問 認知症キッズサ
ポーター養成講
座の開催を。

答 小学生を対
象とした講
座は平成19年度
から取り組んで
おり、今後は中
学生についても
推進します。

問 上・下水道使用
料の改定予定は。

答 上水道は、中長
期な視野に立つ
て、効率的な水道水
の運用、運営コスト
の更なる削減に努
める中で、持続可能
な水道事業を見据
えて、料金改定の時
期を検討します。下
水道では改築更新に
かかる費用の平準化
や維持管理経費の削
減見通しを定めた上
で収支計画を策定し
、運営審議会でご審
議いただき、使用料
のあり方を定めてい
きます。



定住促進策と
災害復興事業について

土田信憲議員

問 定住促進と子育て支援として18才までの医療費無料化、保育料の5割軽減を導入してはどうか。

答 18才までの医療費無料化は、中学3年生までの医療費無料の検証を踏まえ検討します。また、保育料については、国基準と比較して、4割を超える額の軽減をして、子育て支援をしてまいります。

問 災害残土を活用した復興事業の取組みにおける市の対応を問う。

答 災害残土を活用した構造改善事業は、県や市が発注する工事残土を設計上の処分地として指定しており、事業の進捗

状況を把握しながら事業主体と共に調整対応していきます。

問 行政組織の見直しの取組みは。

答 平成30年度の地域医療総合支援センター（仮称）の開設を機に、健康部と福祉部の統合や下水道部の統合など事務事業の見直しを図り、効率的で柔軟な組織体制の整備を検討します。



復旧作業が進む現場



雇用促進住宅の譲渡、
廃止について

岸田 昇議員

問 市は雇用促進住宅について廃止の方向を示しているが、議会にも住民に対する説明責任があるにも関わらず、なぜ相談なく決定されたのか。

答 老朽化が進んでおり、又市内の公営住宅は充足しており当然の判断として議会と協議しました。重要案件であるので購入しないと判断したことを報告すべきであったと考えます。

問 人口ビジョンで和地区は45年後に推計人口が67%減少するとあり、なおかつ築29年が経過している雇用促進住宅が民間に移譲されることなく取り壊さ

れ、更地になった場合の影響は大きいと考えるが対応策は検討しているのか。

答 民間売却も不調となり、最終的に建物が解体され更地になると決まった場合には、地域のご意見を十分にお聞きしながら、その後の対応を機構と協議し検討してまいります。



雇用促進住宅(山南町和田)



来年度に向けた
地方創生の取り組み

坂谷高義議員

問 地方創生先行型交付金の先駆的事業分（タイプ1）に応募していた「移住定住ステップアップ事業」と「低コストで起業のチャンス」を創生する大学・地域住民の持続的連携事業」の2事業が国のモデル事業に選ばれた。この事業は、平成28年度以降も継続的に実施していくのか。

答 着眼点や取組体制などは、今後、市の施策を企画立案するうえで参考になるものと考えます。また、2事業の今後の予定は、現在策定中の「丹の里創生総合戦略」に位置づけ、「移住定住ステップアップ事業」につい

ては引き続き取り組みます。また、「低コストで起業のチャンス」を創出する大学・地域住民の持続的連携事業」は改修した空き家の活用を推進してまいります。



空き家対策に取り組んでいる佐治スタジオ(青垣)



東芦田新水源問題の解決は

白井八洲郎議員

問 当局が提案した「歩み寄り案」では、

「歩み寄り案」では、棧敷水源の水を春日地域へ送水することに なっているが、棧敷水源の水は幸世の宝であり、到底受け入れることはできない。議会報告会でも東芦田水源にかかる水道事業の質問や意見が多く出されたが、何故、市は民意に耳を傾けないのか。

答 春日地域への水融通については、「運用案」を基本とし、今後幸世地区とも協議をしていきます。

問 青垣地域・幸世地区では、市に対する不信任は根強く、水道事業を進める上で失った信頼を

どう取り戻すのか。また、青垣地域自治振興連合会から出されている質問書について、どう回答するのか。

答 今後、青垣地域自治振興連合会とは質疑回答を行う中で、報告や協議を行ってまいります。



議会報告会（氷上地域）



柏原認定こども園について

田坂幸恵議員

問 具体的なスケジュールを問う。

答 平成31年4月に2園の現有地での開園をめざし、両園とも180人定員の規模で柏原は市が増築、柏原西は新法人が新築する計画。今年度中に法人設立委員会を設置します。

問 柏原地域の課題を問う。



答 2園同時開園は、保育士の人員確保が大きな課題です。社会福祉法人の場合、法人の基本財産、

具体的 なスケジュールを問う。

平成31年4月に2園の現有地での開園をめざし、両園とも180人定員の規模で柏原は市が増築、柏原西は新法人が新築する計画。今年度中に法人設立委員会を設置します。

問 保育士修学資金貸付事業を問う。

県は貸付制度導入を研究しており、市も地方創生の中で検討します。

問 女性の活躍推進の取組みについて。

特定事業主行動計画の策定を進め、さらには在宅勤務、フレックスタイム制等の導入を研究します。男女共同参画センターの設置は、女性の活躍推進に大変有用な拠点施設であると考えます。



世界から高く評価される丹波市をめざして

横田 親議員

問 「世代間にあるギャップ」の解消に、重点的に取り組むべきではないか。

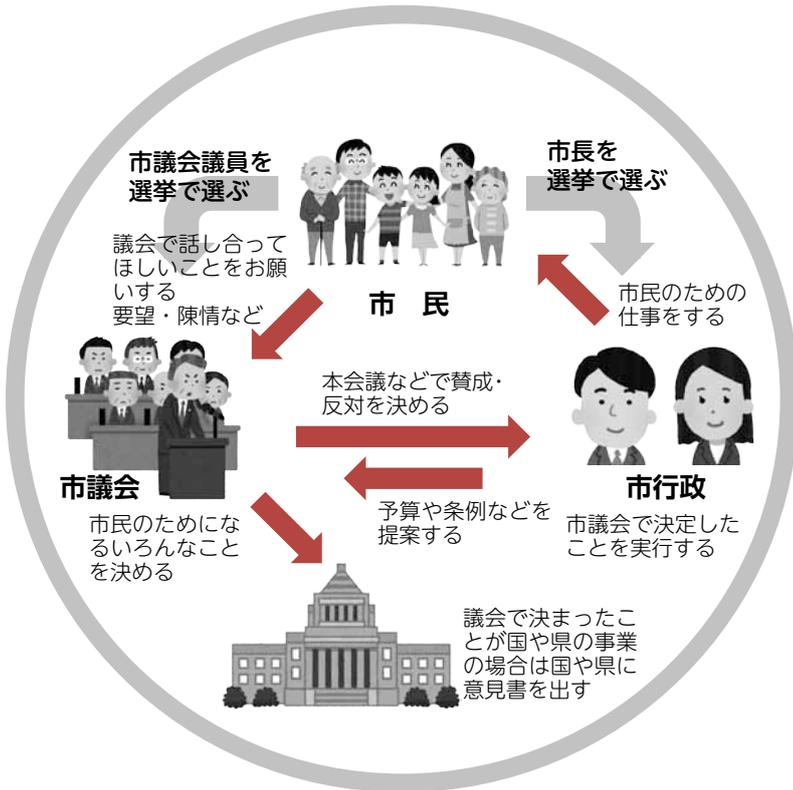
答 まちづくりに取り組みながら、世代間のみならず、個人の思いや考え方の違いなどで意見が衝突することはあると思います。「世代間をつなぐ」に焦点を絞った施策は具体的に検討しておりませんが、様々なテーマの人権学習を通じて、互いを尊重し合う心が育まれるのではないかと考えます。

問 国際交流の相手先としては、ブータンなども視野に入れたアジア圏を中心に、将来の交易を見込んで行うべきと考えるが、具体的に

国際交流に積極的に取り組むべきでは。重要なテーマである認識しておりますが、行政課題が山積する中で、現時点では外国との交流を積極的に推進できる状況にないと考えております。市民活動からの積極的な交流を歓迎し、交流の道筋が立ったものに必要に応じて支援を行うことが現実的ではないかと考えます。



ローマ法王に米を献上するなど個性的な戦略を行う高野氏の講演



市議会ってなに？

- 1 -

市議会の仕組みを知ろう

丹波市に住む市民のために、みんなが選んだ市民の代表が集まって話し合い、市民の生活をどんなふうによくするのかを決めるところを市議会といいます。

丹波市を住みよいまちにするために、市民全員が集まって話し合いをすることはむずかしいので、選挙で選ばれた市議会議員が市民の代表としていろいろなことを話し合います。

市議会議員として仕事ができる期間は4年間で、この期間を任期といいます。

任期が終わると、また選挙をします。



市民のみなさんに市議会を知ってほしい、もっと若い世代にも市政に関心を持ってほしいという思いから新シリーズをスタートしました。

■議会をもっと身近に！

会議録が検索できる

過去の会議録を見ることができます。丹波市議会のホームページから、会議録検索システムに入ることができます。

議会に参加できる

議会に対して要望や陳情・請願などを提出することができます。議会で可決されれば、国などに対し議長名で意見書を提出することもできます。

ネット中継でわかる

本会議及び委員会の様子をライブ配信(本会議は録画配信も)しています。パソコンやスマートフォン、タブレットでご覧いただけます。

スマホでチェック！

インターネット中継はこちらのQRコードからご覧いただけます。

※パケット通信料がかかります。また、機種や環境によりご覧いただけない場合があります。

議会日程がわかる

市議会のホームページやフェイスブック、議会だよりで、議会日程などがわかります。

意見を伝えられる

議会だより裏面の「みなさんからのひとこと」や、市のホームページの「お問合せフォーム」で、議会に対する意見を伝えることができます。

委員会中継も開始

第3委員会室に中継用カメラを設置したことから、各常任委員会の様子も配信できるようになりました。

NEW



丹波市議会

ホームページで Check !



12名の市民モニターと編集委員によるモニター会議（11月6日たんば黎明館）

丹 波市議会では、3月、6月、9月、12月の年4回定例会を開催し、その結果や議会の動きなどを市民のみなさんにお伝えするため、翌月に議会だよりを発行しています。

し かし、その情報はなかなか市民のみなさんに届いていないのが現状のようです。どうすれば伝えたい情報をお届けできるのか、議会だよりを読んでもらえるようになるのか…。

議 会報編集委員会では、11月6日（金）、たんば黎明館（旧大手会館）で市民モニター会議を開催し、改善点などについて率直なご意見をお聞きしました。

市民モニター会議で聞きました
「読みたい」と思える
議会だよりって?!

みなさんからいただいたご意見

* 議会だよりの感想

読みにくい。むずかしい。文字が多く読むのを飛ばしてしまう。読む気がおこらない。（自分には）関係ないものだと思ってしまう。フォントや写真でもう少し工夫をした方がよい。

* あったらいいと思うコーナー（記事）

読者のページ。議員・会派紹介コーナー。まんが風に。解説。子どもが読めるページ。市民からの質問コーナー。クイズ。討論の内容。議員さんの本音。中のページをカラフルに。グラフ。

* その他のご意見

「検討していきます」のその後がどうなったのかを知りたい。余白がもっていないのでその分文字を大きくしてほしい。市の広報紙と合体するとよい（紙類が多く捨てるのも大変）。作成業務自体を委託すればいいのでは。



た くさんのご意見ありがとうございました。よりよい議会だよりをめざして、これからも市民のみなさんからのご意見・ご感想をお待ちしています。

このまちの「あした」がみえてくる。

議会傍聴に お越しく下さい

市議会の定例会や委員会では、市民のみなさんのこれからの生活に直接関わる大切な議案などについて議員が質疑を行い、慎重に審議しています。傍聴をご希望の方は、市役所3階議会事務局までお越しく下さい。

受付で傍聴者受付簿に住所と氏名をご記入の上、会議資料を受け取ってお入りください。



3月定例会の 会期が決まりました。

2月24日（水） ～3月25日（金）

各会議の開催日時は未定です。
最新の情報はホームページでご確認ください。

着 実に芽をふきかけている様です。今までコツコツと積み重ねてきたふるさと丹波を思う人たちの活動が。心豊かな明るいふるさとにするため、丹波市民としてしっかり見守り、応援したいと思えます。

柏原地域
橋本 功さん



ま ずは家のリフォームのため貯蓄します。次に、仕事への姿勢を改め、日々の出来事を入念に振り返り、学びを深めていきます。さらに、自転車を活用したまちづくりと、トライアスロン大会運営に力を入れていきます。

氷上地域
蘆田 恭卓さん



新 制度導入により、認定こども園の責任が大となった。教育と福祉のバランスの取れた両立。次年度開校の青垣小学校に向けた円滑な接続。長期的な視野、幅広い観点で、地域に根ざした園づくりをめざしたい。

青垣地域
高橋 行正さん



みなさんからのひとこと

[テーマ] 新年の抱負

今年こそこんな年に★

今 年は、選挙権が18歳まで引き下げられます。しかも参議院選挙と市長・市議会議員選挙が行われる年です。今年の抱負は、若い人たちと政治の話の大いにしていきたい。若者たちが政治に良い影響を与えてくれることを願って。

山南地域
森田 和志さん



シ ェアハウス兼農家民宿をオープンさせたので、今年はその運営に力を入れたいと思います。「人を雇う、もしくは奥さんを見つける！」ことで、少しでも運営しやすい体制づくりを。希望としては後者で…。

春日地域
花田 匡平さん



昨 年3月に障がい者の就労支援事業所「ら・ぱん工房 来古里」を市島地域に立ち上げました。個性溢れるメンバーたちが毎日パンの製造・販売をしています。2016年もパンづくりを通じてメンバーたちの個性を大切にしていきたいです。

市島地域
高見 忠寿さん



発行責任者 議長 奥村 正行
議会報編集委員会
委員長 横田 親
副委員長 太田 一誠
委員 木戸せつみ
委員 西脇 秀隆
委員 足立 克己
委員 荻野 拓司

み なさんからいただいたご意見をもとに、読んでもらえる議会だよりをめざして、編集委員一同、今年一年さらに精進してまいります。

議 会だよりはむずかしくて読みませんが、でも、ちゃんと読んでみると大事なことがたくさん書いてあり、これからは読もうと思います。これまで馴染みが薄かった紙面を読んでみようといううれしい声をたくさんいただきました。

11 月に、議会報編集委員会の「市民モニター」の方にお集まりいただき、議会だよりについて意見交換の機会を持ちました。

編集後記

